

# 少子化に関する地域格差(合計特殊出生率の高い宮崎県との比較)④

## 相違の分析～地域のつながり・結婚・出産に関する状況から～

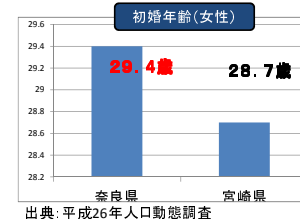
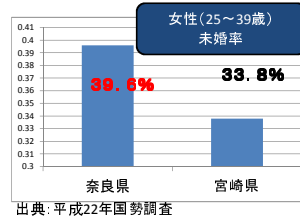
### ①地域のつながりに関する状況

・宮崎県はソーシャル・キャピタル統合指数が全国3位と高いが、奈良県は全国最下位

※内閣府調査「ソーシャル・キャピタル:豊かな人間関係と市民活動の好循環を求めて」平成14年度より  
 ソーシャルキャピタルとは、「人々の協調行動を活発にすることによって、社会の効率性を高めることのできる、「信頼」「規範」「ネットワーク」といった社会組織の特徴」 アメリカの政治学者、ロバート・パットナムの定義

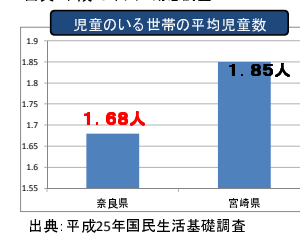
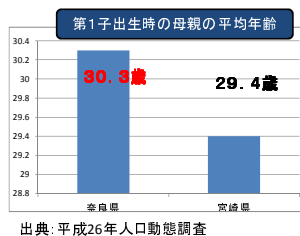
### ②結婚に関する状況

- ・女性(25～39歳)の未婚率が宮崎県は低い  
 奈良県39.6%(全国43位) 宮崎県33.8%(全国13位)
- ・女性の初婚年齢が宮崎県は低い  
 奈良県29.4歳(全国39位) 宮崎県28.7歳(全国3位)



### ③出産と出産後の夫の子育て参加の状況

- ・第1子出生時の母親の平均年齢が宮崎県は低い  
 奈良県30.3歳(全国32位) 宮崎県29.4歳(全国4位)
- ・児童のいる世帯の平均児童数が宮崎県は多い  
 奈良県1.68人(全国41位) 宮崎県1.85人(全国2位)
- ・6歳以下の子をもつ共働き夫婦の夫の家事・育児時間が長い  
 奈良県96分(全国44位) 宮崎県237分(全国4位)



項目	ベスト3			ワースト3		
	島根県	鳥取県	宮崎県	大阪府	東京都	奈良県
ソーシャル・キャピタル統合指数全国順位 ※内閣府調査「ソーシャル・キャピタル:豊かな人間関係と市民活動の好循環を求めて」平成14年度より	1位	2位	3位	45位	46位	47位
合計特殊出生率全国順位(平成27年) ()内は数値 厚生労働省人口動態調査(概数)より	2位 (1.80)	4位 (1.69)	3位 (1.72)	41位 (1.34)	47位 (1.17)	39位 (1.35)
合計特殊出生率全国順位(平成14年) ()内は数値 厚生労働省人口動態調査より	6位 (1.52)	8位 (1.51)	3位 (1.56)	42位 (1.22)	47位 (1.02)	45位 (1.21)

ソーシャル・キャピタル統合指数とは  
 相互比較が可能にように基準化したソーシャルキャピタルの3つの構成要素※に関する個別指標(隣近所とのつきあいの程度、一般的に人々への信頼、地域的な活動への参加状況等)の指数を単純平均したものの。

- ソーシャル・キャピタルの3つの構成要素※に係る都道府県別の傾向が数値で把握できる。  
 ※3つの構成要素  
 I つきあい・交流  
 II 信頼  
 III 社会参加

### ○宮崎県と奈良県の違い

・宮崎県には、結婚を希望する人が、早期にその希望をかなえることができ、希望する子ども数を持つことができる環境※が存在する  
 ※地域や職場でのつながりが強いこと、夫の家事・育児への関わりが強いこと、女性が結婚後も仕事を続けられること など

## 奈良県の施策の方向性～地域のつながり・結婚・出産に関する状況から～

### I 社会全体での『結婚応援』の環境づくり

- ・結婚の希望をかなえるための出会いの場の創出  
 地域イベントや観光スポットにおける出会いイベントの普及  
 出会いイベントの魅力・質の向上
- ・企業や団体による従業員への結婚支援の促進  
 企業内における従業員への結婚支援の促進  
 企業や団体等の従業員同士の交流促進

### II 子育ての孤立感・不安感の解消

- ・子育て支援体制の充実  
 親子交流支援の充実  
 個別相談支援の充実  
 一時的に預かる支援の充実
- ・地域で子育てを応援する気運の醸成  
 なら子育て応援団制度の充実